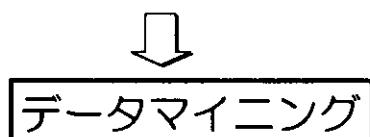


国立金沢医療センターの
電子カルテシステムとデータマイニング

04年 3月 1日 医事システム
物流システム 稼働

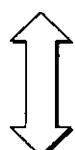
04年10月12日 全面稼働



情報ネットワークの問題点

情報公開法 21世紀になってようやく
施行した情報後進国

カルテ開示に耐えうる電子カルテ：厚労省



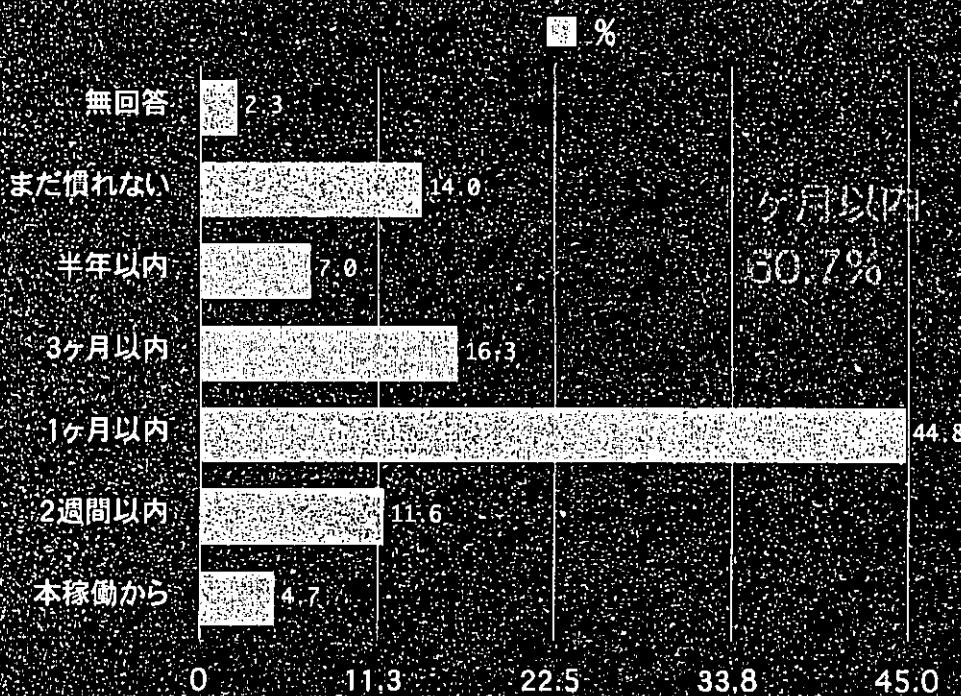
大量の個人情報の流出リスク

電子カルテ導入後 医師アンケート

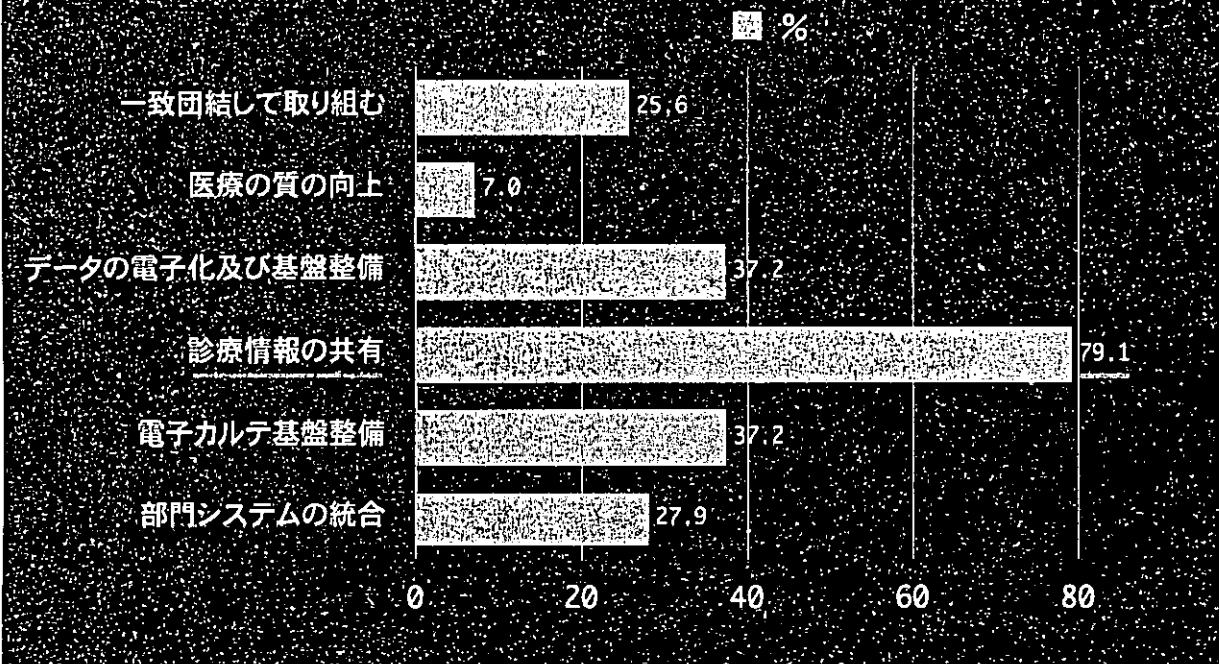
2004. 2月

盛岡赤十字病院 消化器内科 鈴木 明彦
放射線科 阿部 千尋
企画課 佐々木 宏文

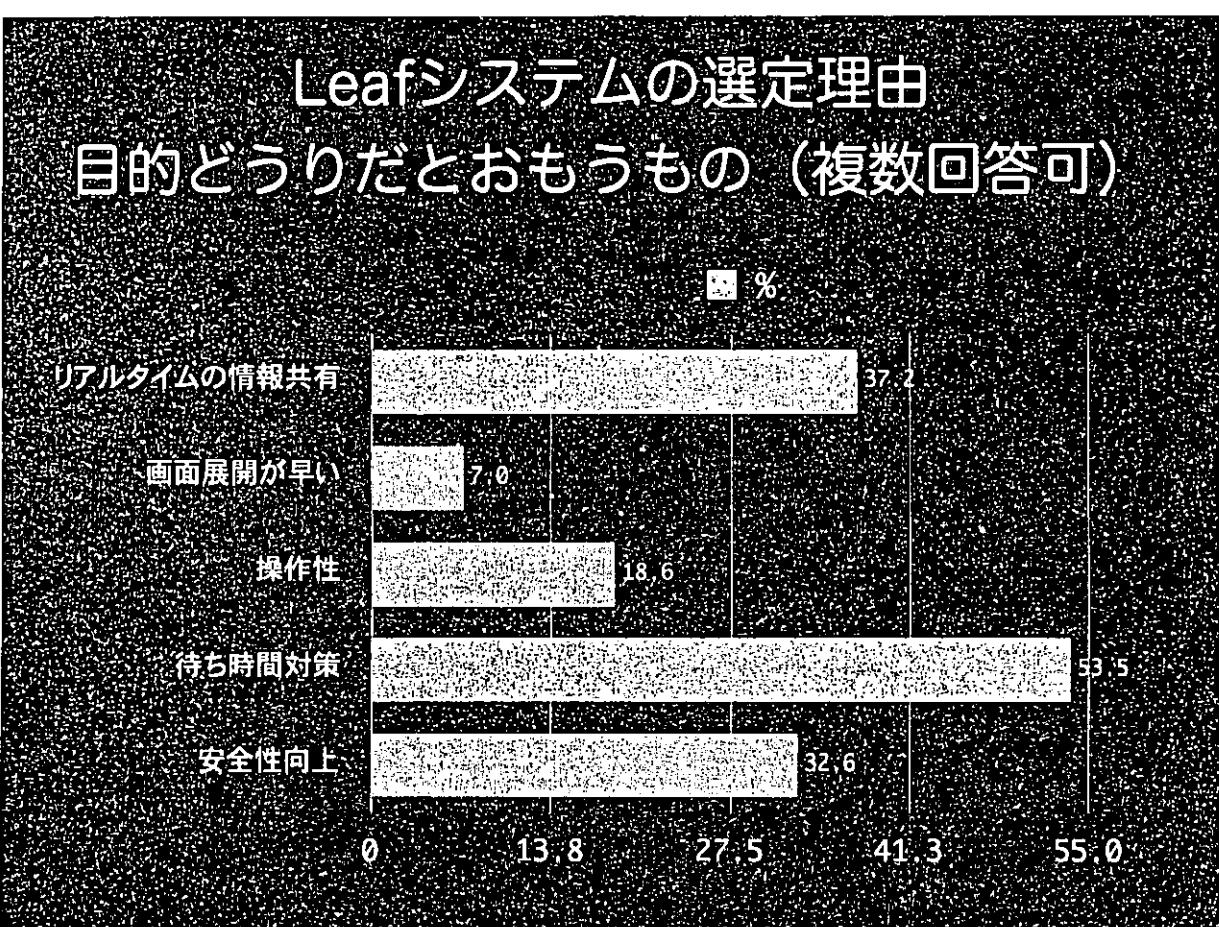
電子カルテの操作習熟までに要した期間



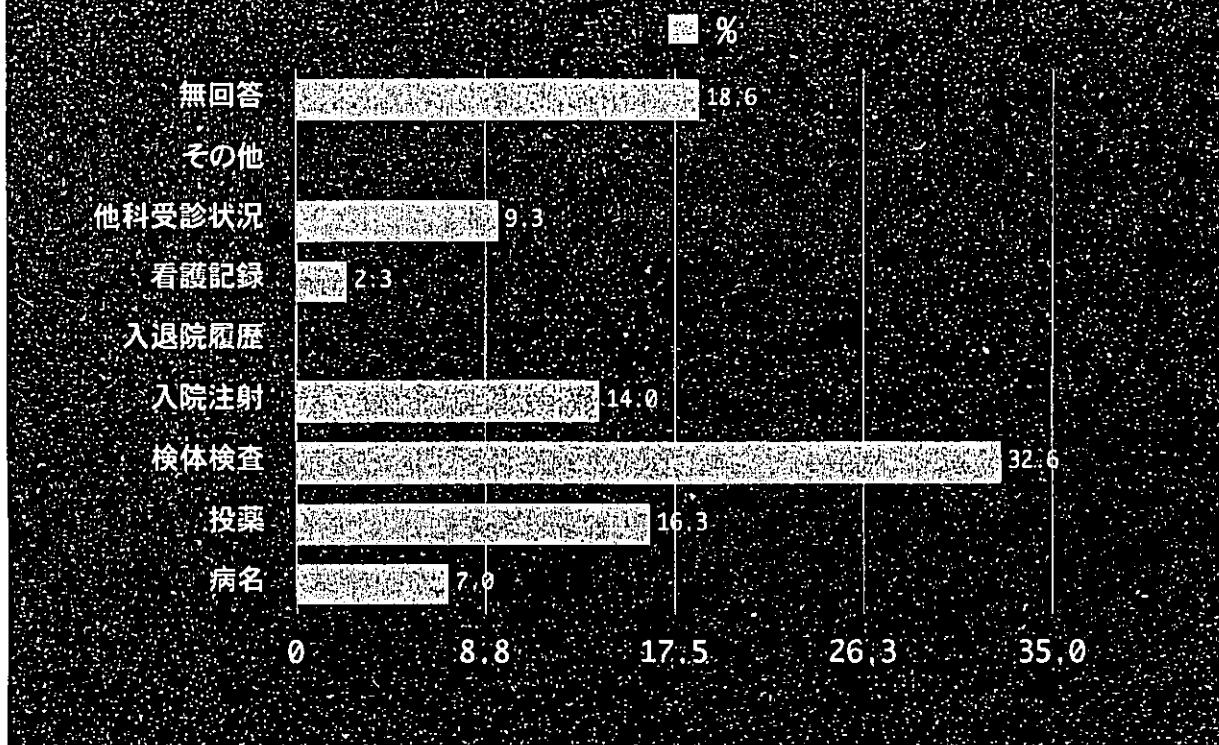
電子カルテ導入時に目標とした効果が でていると思うもの（複数選択可）



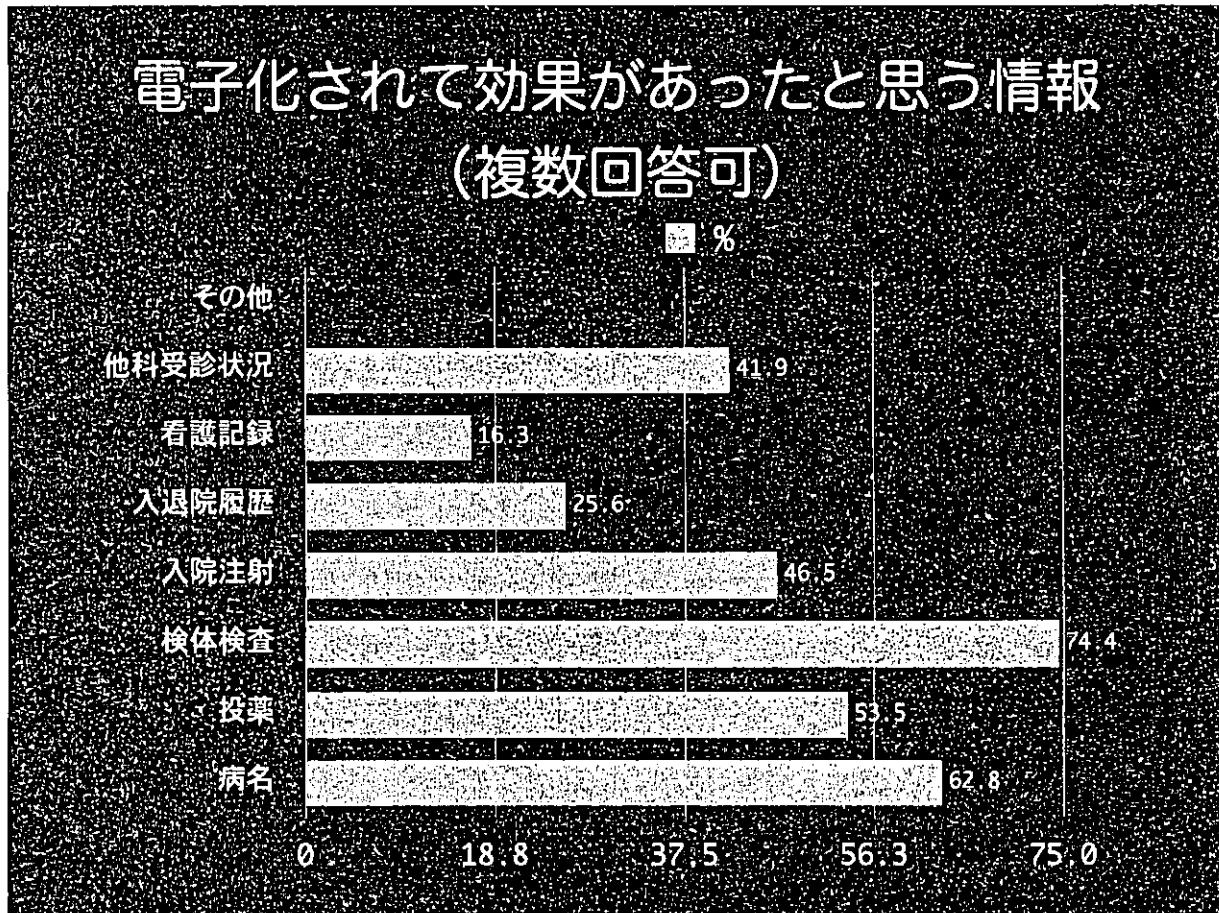
Leafシステムの選定理由 目的どうりだとおもうもの（複数回答可）



電子化されて最も有用だと思う情報は

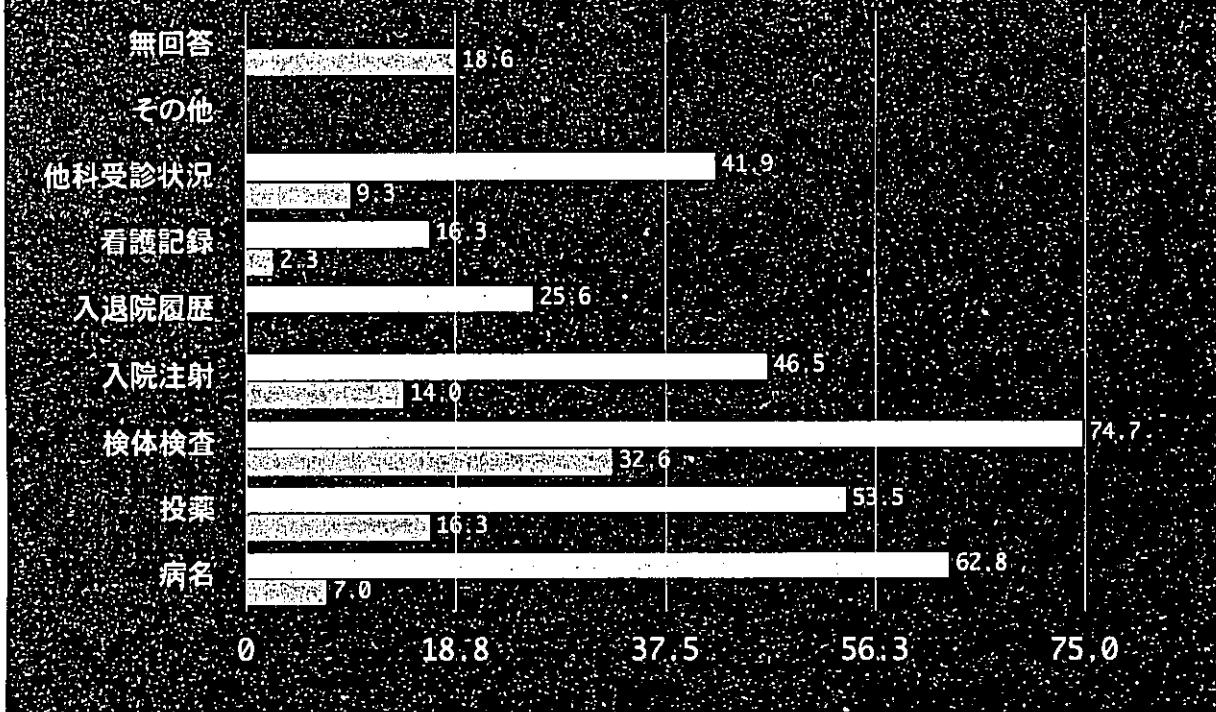


電子化されて効果があったと思う情報 (複数回答可)



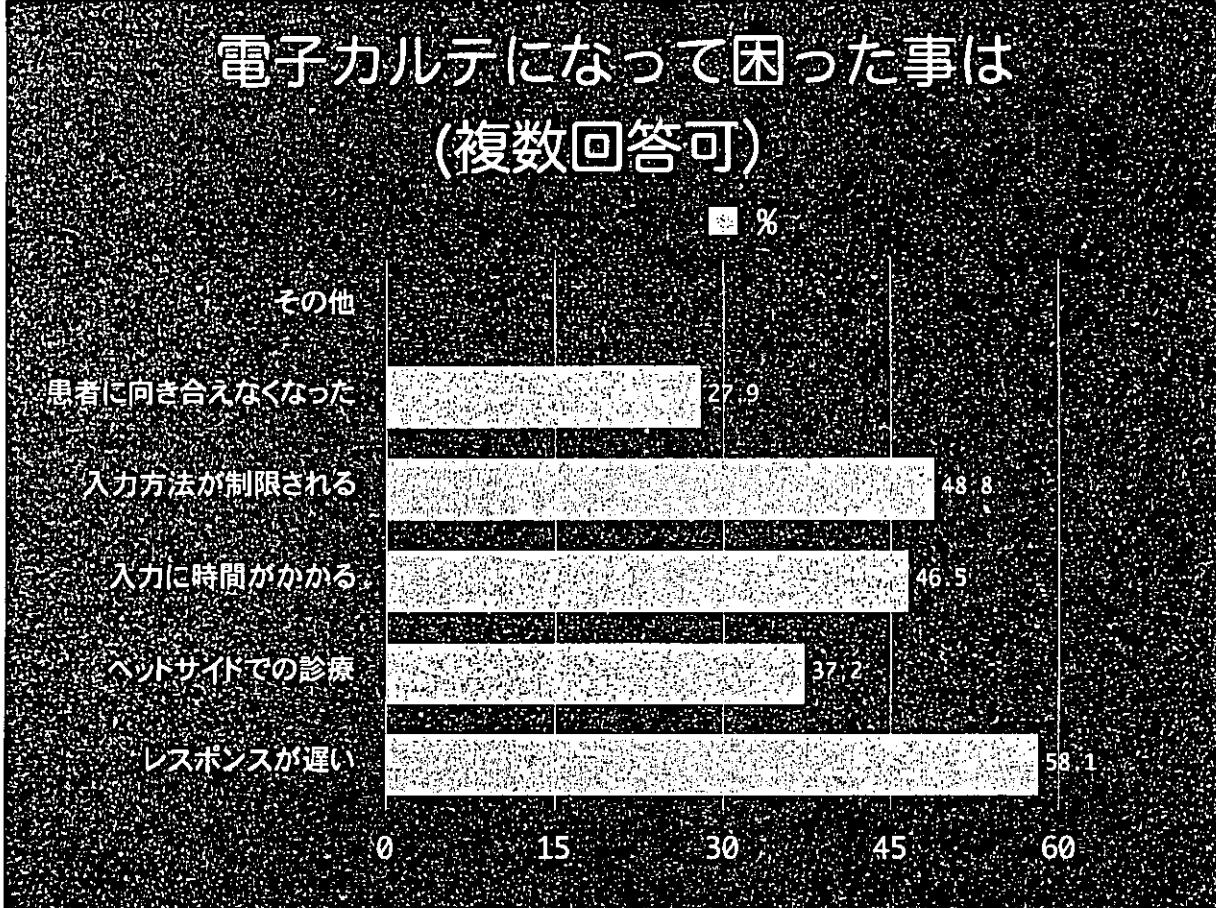
電子化への期待とその効果

■ 効果があると思う ■ 効果があった(複数回答)

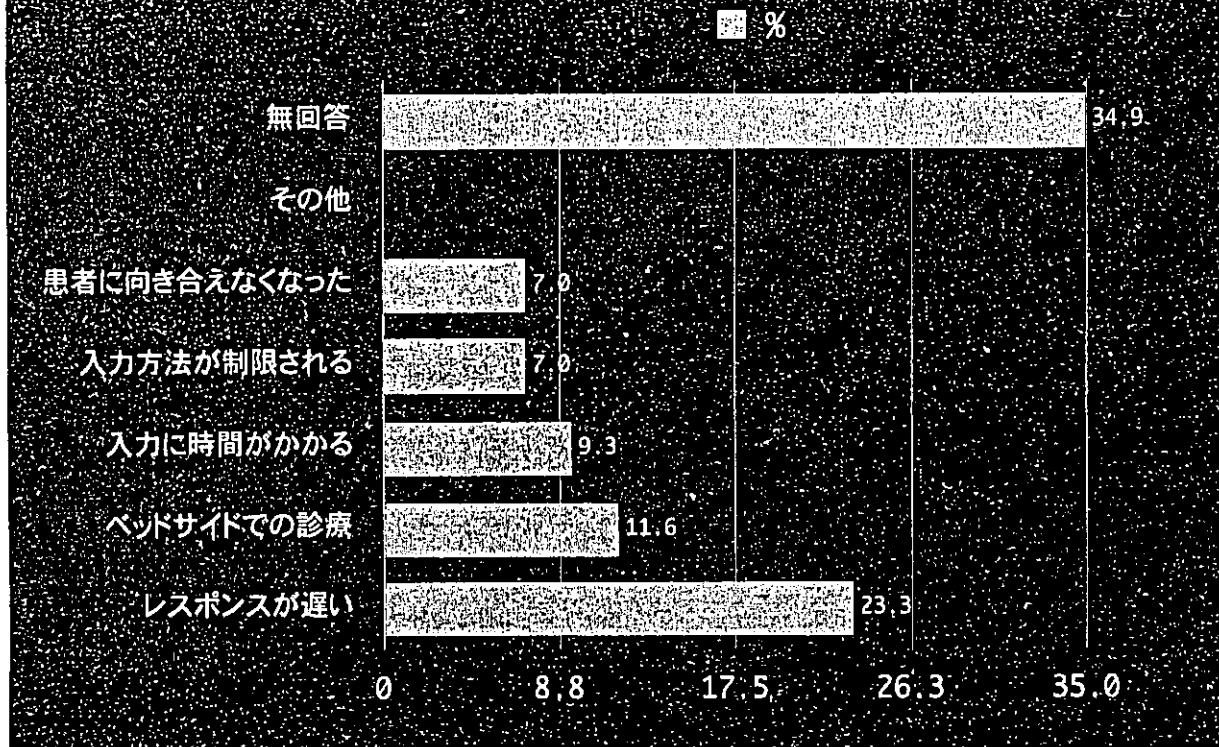


電子カルテになって困った事は (複数回答可)

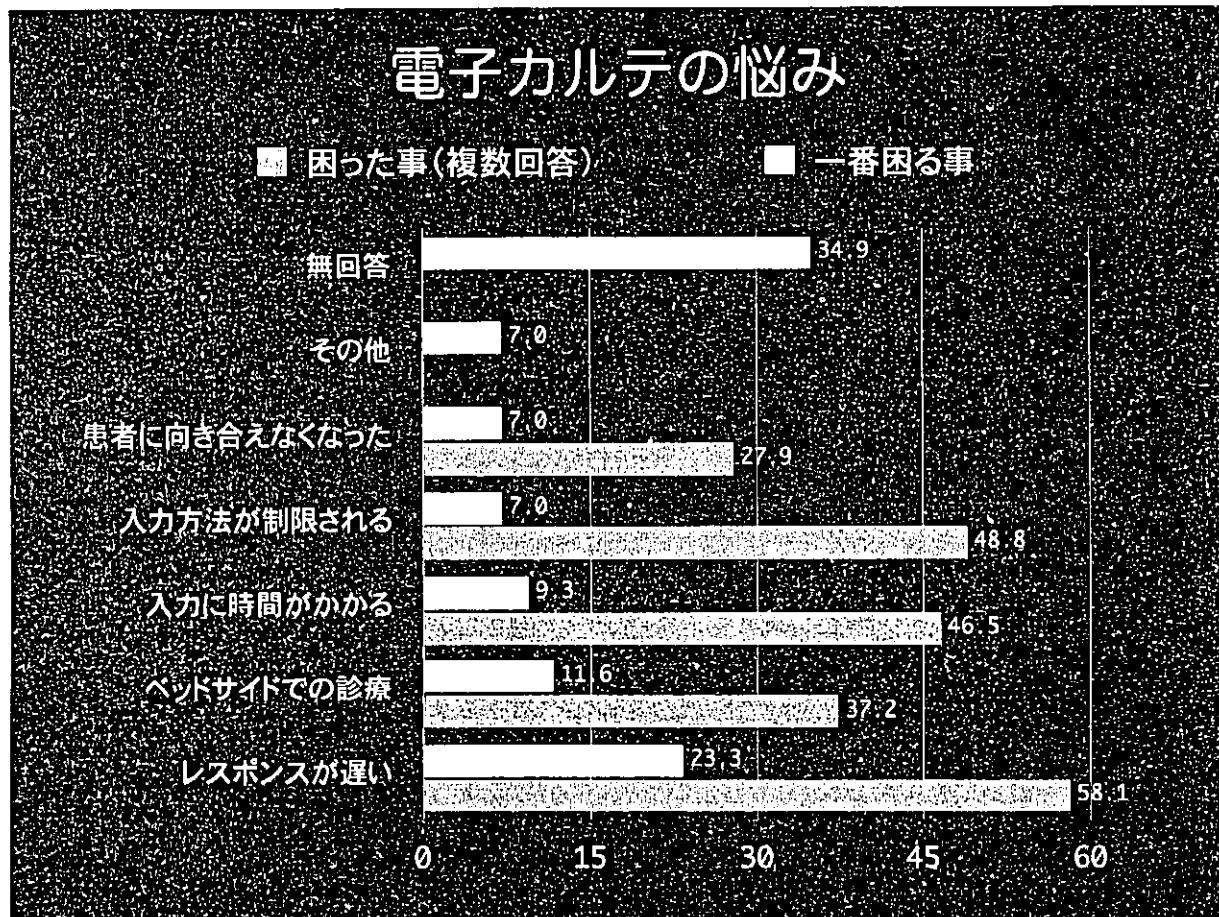
■ %



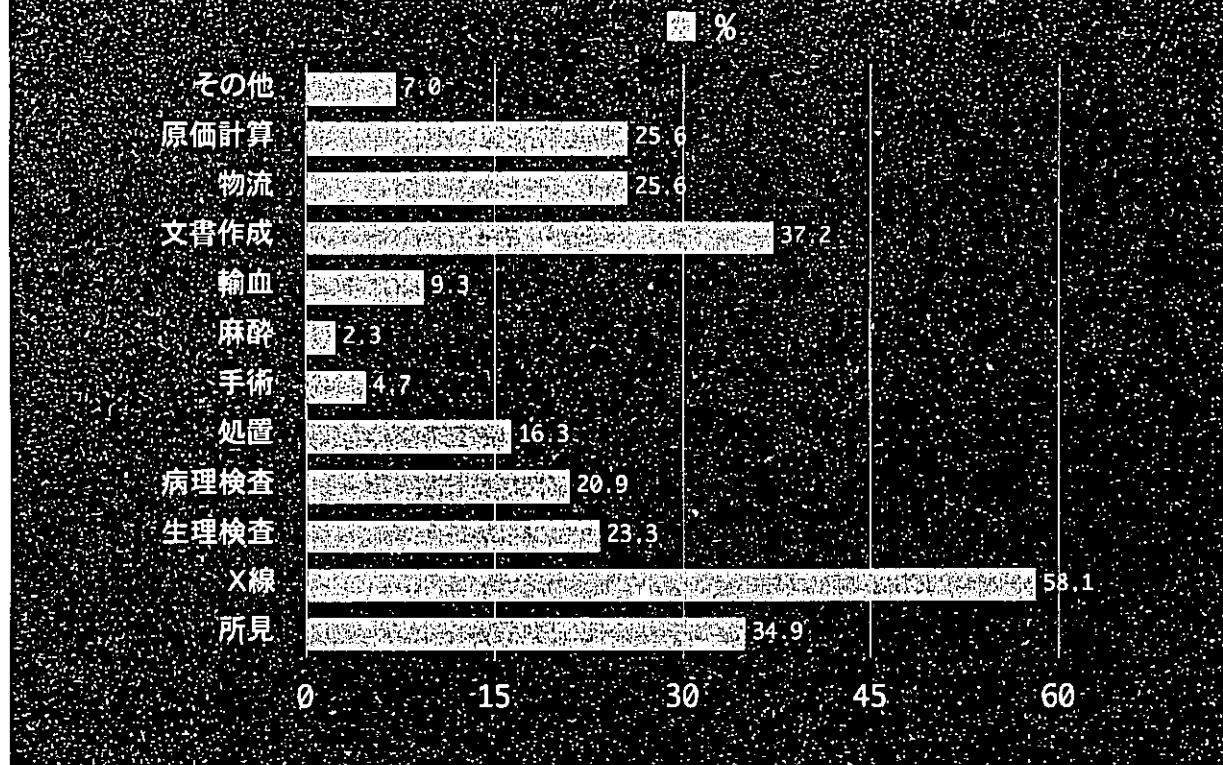
電子カルテになって一番困る事は



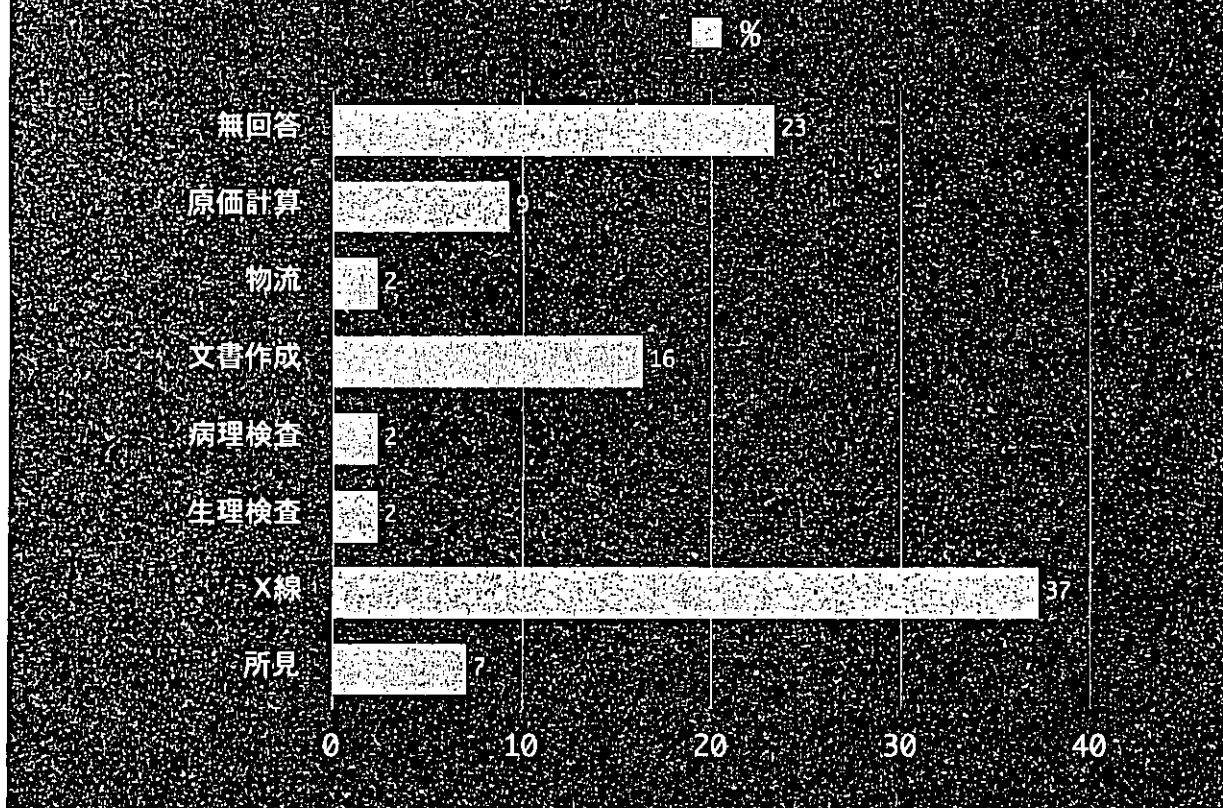
電子カルテの悩み



拡張したいシステムは（複数回答可）

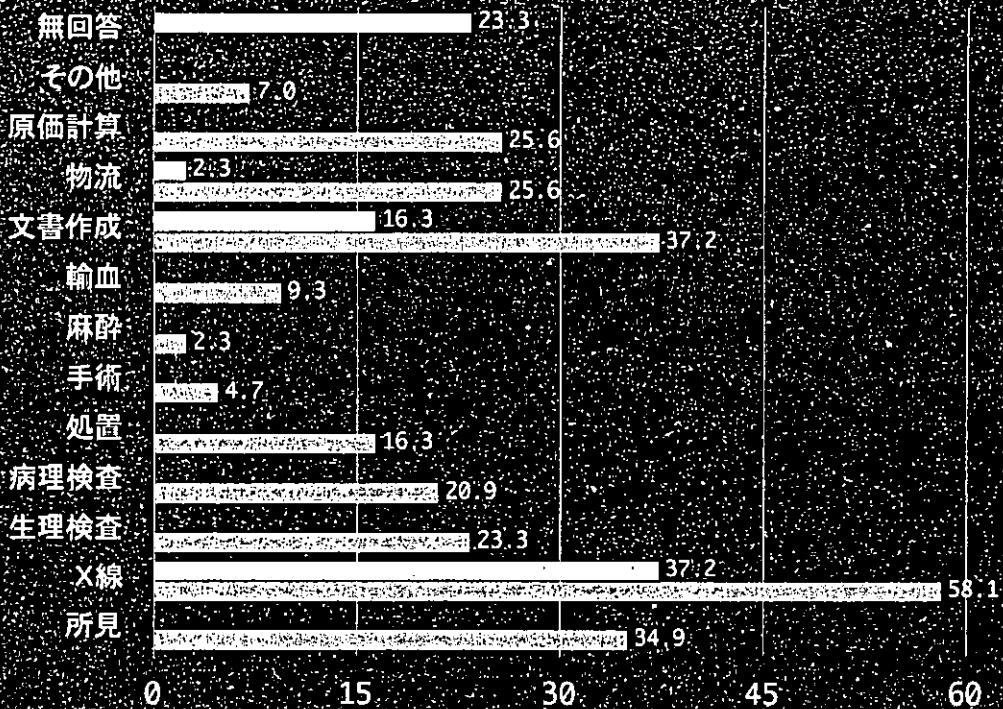


最も導入したいシステムはどれですか



電子カルテの将来への期待

■ 拡張したいシステムは(複数回答) ■ 最も導入したいのは



電子カルテにより他科の診療（病名・投薬・検査など）を参考にする事が増えましたか



研究成果の刊行に関する一覧表

著書

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
秋山昌範	ICD-10 疾病分類と保険病名との違いと問題点、新しい医療を拓く	藤原研司	新しい医療を拓く	医学書院	東京	2003	57-68
秋山昌範	-	秋山昌範	ITで可能になる患者中心の医療	日本医事新報社	東京	2003	1-220
H. Yatsuhashi	IFN Receptor and IFN Signals	M. Omata, K. Okita	Therapy for Viral Hepatitis and Prevention of Hepatocellular Carcinoma	Springer-Verlag	Tokyo	2004	176-185
八橋 弘	C型慢性肝炎IFN単独治療およびRibavirin併用療法の治療成績	犬山シンポジウム記録刊行会	B型・C型肝炎の病態と治療	アークメディア	東京	2003	160-166
武田元博、石田孝宣、大貫幸二、大内憲明	乳癌手術におけるリスクマネージメント。	押田茂寛 松野正紀 根岸七雄	外科病棟・手術室のリスクマネージメント	中外医学社	東京	2004	183-194
大内憲明、久道茂	がん検診		臨床腫瘍学			2003	443-449
Ohuchi N, Ishida T, Ohnuki K, Takeda M	Advances in diagnosis of breast cancer: mammography for screening and mri for breast-conserving surgery.	R. Ros, T Kakizoe (eds.)	“Innovative achievements in cancer imaging”.	The 33rd International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund.	Tokyo	2003	pp. 30-34

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
秋山昌範	病院管理を行うためのERP (Enterprise Resource Planning) システム	医療情報学	23	3-13	2003
秋山昌範, 斎藤澄	遠隔病理診断におけるデジタルマイクロスコープの有用性	遠隔医療研究会論文集	7	78-79	2003
秋山昌範	電子タグのネットワーク利活用に関する検討	医療情報学	23(Suppl.)	103-106	2003
秋山昌範	薬事法改正に対応した医療材料・医薬品のトラッキング	医療情報学	23(Suppl.)	317-319	2003
秋山昌範	HIV診療支援ネットワークを活用した診療連携に関する研究	Jpn J Clin Oncol	33 (4)	161-166	2003
Zhi Mei Lin H. Yatsuhashi M. Daikoku R. Hamada R. Nakao M. Fukuda M. Koga M. Yano	Hepatitis B virus of genotype C persistence after recovery from acute hepatitis B virus infection in Japan	Hepatology Research	25 (3)	244-253	2003
八橋 弘	B型肝炎の臨床像と治療 B型慢性肝炎の自然史	臨床医学	29 (5)	583-585	2003
八橋 弘	特集／C型肝炎－最新の治療 1C型慢性肝炎の自然経過	臨床消化器内科	18 (12)	1595-1601	2003
H. Hamada, H. Yatsuhashi, K. Yano, K. Arisawa, K. Nakao, M. Yano	Interleukin-10 promoter polymorphisms and liver fibrosis progression in patients with chronic hepatitis C in Japan.	Journal of Hepatology	39(3)	457-458	2003
S. Nagaoka, H. Yatsuhashi, H. Hamada, K. Yano, T. Matsumoto, M. Daikoku, K. Arisawa, H. Ishibashi, M. Koga, M. Sata, M. Yano	The Des-D-Carboxy prothrombin Index Is a New Prognostic Indicator for Hepatocellular Carcinoma.	Cancer	98(12)	2671-2677	2003

H. Watanabe, K. Nagayama, N. Enomoto, R. Chinzei, T. Yamashiro, N. Izumi, H. Yatsuhashi , T. Nakano, B H. Robertson, H. Nakasone, H. Sakugawa, M. Watanabe	Chronic hepatitis delta virus infection with genotype IIb variant is correlated with progressive liver disease	J Gen Virol 84		3275-3289	2003
Amari M, Ohuchi N. et al.	LOH analyses of asynchronous lesions of ductal carcinoma in situ and invasive ductal carcinoma.	Jpn J Clin Oncol 33(11)		556-562	2003
Sakayori M, Ohuchi N, Kawahara M, et al.	Evaluation of the diagnostic accuracy of the stop codon (SC) assay for identifying protein-truncating mutation in the BRCA1 and BRCA2 genes in familial breast	J Hum Genet 48		130-137	2003
Minami Y, Ohuchi N, Tsubono Y, et al. (total 5, 4th)	The increase of female breast cancer incidence in Japan: emergence of birth cohort effect.	Int J Cancer 108		901-906	2004
M. Takeda, N. Ohuchi, et al.	Collaboration of Breast Cancer Clinic and Genetic Counseling Division for BRCA1 and BRCA2 Mutation Family in Japan.	Breast Cancer 11(1)		30-32	2004
Ishida T, Ohuchi N, Moriya T, et al.	Pathological assessment of intraductal spread of carcinoma in relation to surgical margin state in breast conserving surgery.	Jpn J Clin Oncol 33 (4)		161-166	2003
De La Cruz C, Moriya T, Ohuchi N, Sasano H. et al.	Invasive micropapillary carcinoma of the breast. Clinicopathological and immuno-histochemical study.	Pathol Int 54		90-96	2004

大内憲明、武田元博、川添良幸、佐竹正延*、柏谷厚生	クラスター利用ナノ医療	ナノ学会会報	1 (2)	101-105	2003
庄子由美、梅澤昭子、星 邦彦、根本建二、大内憲明	医療の安全文化をいかに醸成するか。	医療マネジメント学会雑誌	4 (3)	445-449	2003
大内憲明、石田孝宣、大貫幸二、武田元博、石橋忠司	非浸潤性乳管癌：放射線科医師に直面する課題と展望	臨床放射線	48 (7)	803-809	2003
鈴木昭彦、石田孝宣、森谷卓也、大内憲明	乳腺症と乳癌	産婦人科治療	87 (6)	642-646	2003
Yoshimura M., Hara A., Ise, T., Kida, H., Sasaki H., Takashi Wada, T., Yokoyama, H., Yamada K.	The point of no return during the course of IgA nephropathy	Nephrology	8	A104-A106	2003
佐々木宏文	電子カルテ（Leafシステム）を短期間で導入できた要因と導入効果及び運用上の課題	日赤医学	55(2)	In press	2004
目時のり	電子カルテ稼動後2ヶ月後の状況と課題 —病棟看護師の意識調査—	日本医療情報学会 第4階看護情報研究会論文集	-	-	2003
根田光朗	電子カルテと薬剤業務の関わりについて	病棟いわて	27(4)	11	2003
佐々木宏文	電子カルテを短期間で導入できた要因	日赤医学	55(1)	121	2003
佐々木宏文	電子カルテ(Leaf)の導入効果と今後の課題	日赤医学	55(1)	121	2003
浅沼宏子	携帯端末導入後の注射エラーの実態と課題	日赤医学	55(1)	75	2003

根田光朗	電子カルテと薬剤業務の関わりについて	日赤医学	55(1)	213	2003
佐々木宏文	電子カルテを短期間で導入できた要因及び導入効果	日本医療情報学連合大会論文集	-	198	2003
自時のり	電子カルテ導入期の状況と課題－稼動2ヶ月及び6ヶ月後の病棟看護師に対する意識調査－	日本医療情報学連合大会論文集	-	62	2003
根田光朗	電子カルテと薬剤業務の関わりについて	日本医療情報学連合大会論文集	-	307	2003

ビデオ

監修者	タイトル名	制作年
秋山昌範	病院のIT化で目指すべき機能～POAS～	2003
秋山昌範	病院のIT化 ～電子温度板～	2003
秋山昌範	医療連携のIT化	2003

※配布先－厚生労働省、総務省、国立病院、研究機関、報道機関、企業等 51 か所

20031048

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

平成 15 年度総括研究報告書
厚生労働科学研究補助金

電子カルテシステムにより集積したデータの
診療情報解析（データマイニング）に関する研究

発行日 平成 16 年 3 月

発行者 国立国際医療センター

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL 03-3202-7181

印 刷 (有) 豊印社 TEL03-3372-4776